

第 2 回県央二次医療圏 地域ワーキンググループ 結果概要

日時 令和 6 年 10 月 21 日 (月) 19:00~21:00

場所 海老名市文化会館 大ホール棟多目的室

① 今後の病床機能に関する議論の方向性と「2025 プラン」に関する変更協議

医療企画課より、4 機能ごとの病床数に焦点を当てた議論から、地域で必要な対策を検討する方向へ転換すること、今後、2025 プランの変更は毎年度第 1 回地域医療構想調整会議で集中的に協議することを資料に基づき説明。

<主な意見>

- ・ 2025 プランの変更について、地域医療構想調整会議で議論できるのか。
→地域医療構想調整会議には医療以外の分野の委員もいる。地域によっては病院協会がワーキンググループを設置していることから、地域のワーキンググループでまず整理をし、それを病院協会の意見として地域医療構想調整会議に臨むという方法もあるのではないか。(医療企画課)
- ・ 2025 プランについては、都度変更しないといけないのか。
→医療機関の病床種別等の現状や 2025 年に向けた方針などを変更する場合には提出していただいているが、今後どういう場合に提出していただくか、検討していきたい。(医療企画課)
- ・ 年度の途中で転換の希望があった場合の取扱いはどうするのか。
→原則は第 1 回の地域医療構想調整会議で集中的に議論していくが、医療機関のスケジュールと合わない場合もあると思うので、事後の報告を認めるケースについて県で整理を始めている。(医療企画課)

② 定量的基準による分析結果及びデータ分析事業の実施

医療企画課より、令和 5 年度病床機能報告に基づく定量的基準による分析結果及び令和 6 年度のデータ分析事業の実施状況について資料に基づき説明。

また、厚木保健福祉事務所及び大和センターより、県央地区の各病院の 2025 プランと令和 5 年度病床機能報告の概要を取りまとめた資料を配布。

<主な意見>

- ・ 定量的基準による分析では、地位包括ケア病床は急性期と回復期ではどちらになるのか。
→地域包括ケア病床だからということではなく、その病棟について県で選定した指標に係る状況に応じて整理している。(医療企画課)
- ・ 地域包括ケア病床の目的からすると回復期と整理されるのは当然であり、これを持って必要病床数と比較するのはどうなのかと考える。
→県としても必要病床数自体が妥当かどうかは疑問があることは承知している。(医療企画課)
- ・ 今後、この地域のワーキンググループで情報共有・意見交換を行うために、各医療機関において 2025 プランの内容を現状に合わせて修正していただくことが望ましい。(医療企画課)

③ 県央地区における高度急性期病床の在り方について

厚木保健福祉事務所より、今年度は昨年度と同様の調査は実施せず、今後、新たな地域医療構想の検討に当たって必要な調査があれば県で実施を検討する旨を説明。

④ 2025 プランの変更（相模台病院の地域包括医療病棟の開棟）

相模台病院より、一般病床（急性期）のうち 39 床を、11 月より地域包括医療病棟に変更したいとの説明があり、了承された。

なお、変更後も主として急性期を担う意向が示されたことから、病床機能の変更には当たらないため、第 2 回県央地区保健医療福祉推進会議においては報告を行うこととされた。

<主な意見>

- ・当該病棟では、主にどのような疾患を想定しているか。
→65 才以上の患者の外科系を中心に考えている。（相模台病院）
- ・当院でも地域包括医療病棟に一部転換したが、看護必要度にばらつきがあり、ベッドコントロールが難しい印象がある。
- ・地域医師会において変更計画を説明していただいたが、高齢者救急に対応してもらえることは有り難いとの結論であった。

⑤ かかりつけ医機能報告制度の国の検討状況

医療企画課より、資料に基づき説明。

<主な意見>

- ・診療所だけでなく、病院も報告対象か。
→特定機能病院以外は報告の対象となる。（医療企画課）
- ・この制度のそもそもの目的は何か。
→持続可能な社会保障制度を構築するための取組のひとつとして、今後は病床以外に、かかりつけ医の状況も見える化し議論を行っていく。（医療企画課）
- ・報告を行わない場合に罰則はあるか。
→罰則の規定は現時点では確認できていないが、報告がない医療機関を公表することが考えられるのではないかと。（医療企画課）
- ・介護保険制度においてかかりつけ医（主治医）を持つように言われるが、かかりつけ医機能報告制度のかかりつけ医とはそれとイコールか。
→医療企画課としても国の資料以上の情報は持ち合わせていない。今後、新たな情報があった場合には、こうした場を活用して情報提供したい。（医療企画課）

⑥ 「回復期病床等転換施設整備費補助」等における地域包括医療病棟の取扱い（報告）

医療企画課より、資料に基づき説明。

⑦ 紹介受診重点医療機関の指定（報告）

医療企画課より、神奈川リハビリテーション病院に係る条例改正が 11 月の県議会で議決されれば、神奈川リハビリテーション病院が指定される予定である旨を説明。

⑧ さがみメディカルパートナーズ 2024 年度事業報告（報告）

地域医療連携推進法人「さがみメディカルパートナーズ」より、2024 年度の事業実施予定について、資料に基づき説明

⑨ その他

病院協会より、県央二次医療圏地域ワーキンググループの概要や開催状況、他の二次医療圏における検討会や勉強会の状況について説明があり、確認・共有を行った。来年度の開催スケジュール等について、今後検討予定。

以上